

学年	1	教科	英語	科目	英語表現 I	単位数	2
教科書名	Revised POLESTAR English Expression I (数研出版)			副教材名	①Revised POLESTAR English expression I (数研出版) ②高校リード問題集A (教育開発出版) ③FACTBOOK (桐原書店) ④スクランブル英文法・語法 4th Edition (旺文社)		
クラス	スポーツ			授業担当者	西村 栄蔵		

I. 目標

- 1 英語表現の基盤である基礎的な英文法の定着を目指す。
- 2 日大基礎学力到達度テストへ向けた実践力を養う。

II. 授業のねらい

- 1 言語の構造を理解し、英文を読んだり、場面に応じて適切に話したりするのに必要な基礎を固める。
- 2 自分の考えを述べ、相手の意図を正しく理解するコミュニケーション能力を養う。

III. 授業の進め方

- 1 主に副教材を用い、演習形式を主体とし、理解の定着をはかる。
- 2 単元終了毎に単元テストを実施する。

IV. 学習上の留意点

授業前には必ず教材の準備をしておく。プリント類はすべて、各自でファイルを用意して保管、あるいはノートに貼る等の工夫をする。

V. 定期試験

- 1 教科書、副教材の指定範囲から出題する。
 - 1 学期中間試験 : 文型、文の種類
 - 1 学期期末試験 : 基本時制
 - 2 学期中間試験 : 完了時制、助動詞
 - 2 学期期末試験 : 受動態、不定詞
 - 3 学期学年末試験 : 動名詞、分詞、分詞構文

※ 授業の進度により定期試験の試験範囲は変更する場合がある。
- 2 日大基礎学力到達度テストと同じ形式の問題を出題する。
- 3 初見問題として長文を出題し、範囲の文法事項を問う問題を設定する。

VI. 評価の方法

定期試験、小テスト、提出物状況、授業の取り組み方などを総合的に評価する。

VII. 授業計画

	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一 学 期	4	・ 文型	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期試験 ・ 授業態度 ・ 課題提出 ・ 単元テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎的な英文を正確に表現することができる。 ・ 文型を意識して英文を作ることができる。 ・ 時制の使い方を身につけることができる。
	5	・ 文の種類		
	6	・ 時制（現在形・過去形・進行形）		
	7	・ 時制（未来形）		
二 学 期	9	・ 時制（完了時制）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期試験 ・ 授業態度 ・ 課題提出 ・ 単元テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 時制の使い方を身につけることができる。 ・ 助動詞の意味を理解し、正しく使うことができる。 ・ 英語で勧誘したり、提案したりすることができる。 ・ 英語で依頼したり、理由を聞き、述べたりすることができる。 ・ 英語で義務・必要を述べることができる。 ・ 英語で期待・確信を述べることができる。 ・ 態の形を理解し、正確に内容を読み取ることができる。 ・ 英語で感想を述べたり、尋ねたりすることができる。 ・ 英語で願望や目的を述べることができる。
	10	・ 助動詞		
	11	・ 受動態		
	12	・ 不定詞		
三 学 期	1	・ 動名詞	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期試験 ・ 授業態度 ・ 課題提出 ・ 単元テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不定詞と動名詞を正しく使い分けることができる。 ・ 分詞の用法を理解し、正しく表現することができる。
	2	・ 分詞		
	3	・ 分詞構文		

※ シラバスの内容については、理解度やその他の都合により変更することもあります。